



平成29年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月7日

上場会社名 ライオン株式会社

上場取引所 東

コード番号 4912 URL <http://www.lion.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 濱 逸夫

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 鎌尾 義明

TEL 03-3621-6211

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト等向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	301,142	3.8	20,697	8.6	22,122	9.3	14,832	13.7
28年12月期第3四半期	290,134	5.9	19,064	72.2	20,237	65.0	13,043	75.9

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 20,266百万円 (108.1%) 28年12月期第3四半期 9,740百万円 (32.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	51.05	50.98
28年12月期第3四半期	45.15	45.09

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	309,865	173,085	52.9
28年12月期	298,510	157,879	50.0

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 163,779百万円 28年12月期 149,282百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期		5.00		8.00	13.00
29年12月期		7.00			
29年12月期(予想)				8.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	405,000	2.4	27,000	10.2	28,000	6.5	17,000	6.6	58.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期3Q	299,115,346 株	28年12月期	299,115,346 株
期末自己株式数	29年12月期3Q	8,530,874 株	28年12月期	8,551,212 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期3Q	290,581,252 株	28年12月期3Q	288,893,269 株

(注)株主資本において自己株式として計上されている役員報酬BIP信託に残存する自社の株式については、平成29年12月期第3四半期の「期末自己株式数」に502,200株含めており、平成29年12月期第3四半期の「期中平均株式数」において223,200株控除しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料で記述している業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、経済情勢、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は、上記予想数値とは大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P.6「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	7
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	7
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	7
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	7
(4) 追加情報	7
3. 四半期連結財務諸表	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期の連結業績は、売上高3,011億4千2百万円（前年同期比3.8%増、為替変動の影響を除いた実質前年同期比2.8%増）、営業利益206億9千7百万円（前年同期比8.6%増）、経常利益221億2千2百万円（同9.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益148億3千2百万円（同13.7%増）となりました。

当社グループは、中期経営計画「V-2計画（V i s i o n 2 0 2 0 P a r t - 2）」における4つの戦略テーマ「国内事業の質的成長」、「海外事業の量的成長」、「新しいビジネス価値の開発」、「組織学習能力の向上」にもとづく施策を推進しています。

国内事業では、歯磨、歯刷子、口中剤、制汗剤、柔軟剤等において新製品を導入するとともに、高付加価値品を中心に積極的なマーケティング施策により育成を図りました。

海外事業では、オーラルケア、ビューティケア等のパーソナルケア分野を中心に、重点ブランドの育成を行い、事業規模の拡大を図りました。

【連結業績の概況】

(単位：百万円)

	当第3四半期	売上比	前第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	301,142		290,134		11,008	3.8%
営業利益	20,697	6.9%	19,064	6.6%	1,633	8.6%
経常利益	22,122	7.3%	20,237	7.0%	1,884	9.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,832	4.9%	13,043	4.5%	1,789	13.7%

【セグメント別の業績】

(単位：百万円)

	売上高				セグメント利益（営業利益）			
	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率
一般用消費財事業	213,826	209,652	4,173	2.0%	14,280	12,620	1,660	13.2%
産業用品事業	40,171	39,892	279	0.7%	1,476	1,838	△362	△19.7%
海外事業	89,976	83,354	6,621	7.9%	3,859	3,601	258	7.2%
その他	22,160	18,916	3,243	17.1%	953	523	429	82.0%
小計	366,134	351,816	14,318	4.1%	20,570	18,584	1,986	10.7%
調整額	△64,992	△61,682	△3,309	—	126	480	△353	△73.6%
合計	301,142	290,134	11,008	3.8%	20,697	19,064	1,633	8.6%

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

<一般用消費財事業>

当事業は、「オーラルケア分野」、「ビューティケア分野」、「ファブリックケア分野」、「リビングケア分野」、「薬品分野」、「その他の分野」に分かれており、全体の売上高は、前年同期比2.0%の増加となりました。セグメント利益は、原材料価格が上昇しましたが、高付加価値品の伸長などにより前年同期比13.2%の増加となりました。

(単位：百万円)

	当第3四半期	売上比	前第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	213,826		209,652		4,173	2.0%
セグメント利益	14,280	6.7%	12,620	6.0%	1,660	13.2%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第3四半期では20,212百万円、前第3四半期では19,357百万円となっております。

[売上高の分野別状況]

(単位：百万円)

	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率
オーラルケア分野	48,110	44,794	3,316	7.4%
ビューティケア分野	18,956	17,502	1,454	8.3%
ファブリックケア分野	59,267	58,997	270	0.5%
リビングケア分野	15,092	15,153	△60	△0.4%
薬品分野	28,745	30,001	△1,256	△4.2%
その他の分野	43,654	43,203	450	1.0%

(オーラルケア分野)

歯磨は、「0才からはじめる予防歯科」の実践を提案し、新たな香味を追加した「クリニカKid's^{キッズ} ジェルハミガキ」が堅調に推移するとともに、口臭ケアの新ブランド「NONIO^{ノニオ} ハミガキ」がお客様のご好評をいただき、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

歯刷牙子は、コンパクトタイプを追加発売した「ビトイーン贅沢^{ケア}Care」が好調に推移するとともに、子どもの成長に合わせて、歯みがきの習慣化から永久歯の上手なケアまでをサポートする「クリニカKid's^{キッズ} ハブラシ」が前年同期比3倍増となり、全体の売上は前年同期を上回りました。

口中剤は、「システムハグキプラス デンタルリンス」が順調に推移するとともに、菌の増殖を長時間抑制し、口臭を防ぐ「NONIO^{ノニオ} マウスウォッシュ」がお客様のご好評をいただき、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

(ビューティケア分野)

ハンドソープは、「キレイキレイ薬用泡ハンドソープ」が堅調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

ボディソープは、保湿とサラサラ感を両立した新製品や新しい香りを追加した「hadakara^{ハダカラ} ボディソープ」がお客様のご好評をいただき、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

制汗剤は、ワキ汗をしっかり抑え、サラサラした使用感の新製品「Ban^{バン} 汗ブロックスティック プレミアムラベル」がお客様のご好評をいただきましたが、全体の売上は前年同期比微減となりました。

(ファブリックケア分野)

柔軟剤は、衣類についた汗臭や体臭をしっかりと消臭する「香りとデオドラントのソフラン プレミアム消臭プラス」がお客様のご好評をいただくとともに、「ソフラン アロマリッチ」が順調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

洗濯用洗剤は、新開発の“プレミアム抗菌処方”で抗菌効果を向上させた超コンパクト液体洗剤「トップ ^{ハイジア}HYGIA」が好調に推移しましたが、市場規模の縮小が続く粉末洗剤が前年同期を下回り、全体の売上は前年同期を下回りました。

(リビングケア分野)

台所用洗剤は、食器洗い機専用洗剤「^{チャーミー}CHARMY クリスタ」が好調に推移しましたが、「^{チャーミーマジカ}CHARMY Magica」が伸びなやみ、全体の売上は前年同期比微減となりました。

住居用洗剤は、浴室用カビ防止剤「ルック おふろの防カビくん煙剤」が好調に推移しましたが、浴室用洗剤が前年同期を下回り、全体の売上は前年同期比微減となりました。

(薬品分野)

解熱鎮痛薬は、「バファリン プレミアム」が好調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

点眼剤は、「スマイル40」が前年同期を下回ったことに加え、競争激化の影響を受け、全体の売上は前年同期を下回りました。

(その他の分野)

通信販売商品は、「ナイスリムエッセンス ラクトフェリン」が堅調に推移するとともに、「グッスミン 酵母のちから」が好調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

ペット用品は、猫用トイレの砂「ニオイをとる砂」が順調に推移するとともに、オーラルケア用品が好調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

＜産業用品事業＞

当事業は、タイヤの防着剤等を取り扱う「自動車分野」、2次電池向け導電性カーボン等の「電気・電子分野」、施設・厨房向け洗浄剤等の「業務用洗浄剤分野」等で構成されており、全体の売上高は、前年同期比0.7%の増加となりました。セグメント利益は、原材料価格の上昇などにより前年同期比19.7%の減少となりました。

(単位：百万円)

	当第3四半期	売上比	前第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	40,171		39,892		279	0.7%
セグメント利益	1,476	3.7%	1,838	4.6%	△362	△19.7%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第3四半期では16,424百万円、前第3四半期では16,958百万円となっております。

自動車分野では、タイヤの防着剤が順調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

電気・電子分野では、半導体搬送材料向け導電樹脂が好調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

業務用洗浄剤分野では、厨房向け消毒用アルコールが好調に推移するとともに、ハンドソープが順調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

＜海外事業＞

海外は、タイ、マレーシア等の東南アジア、韓国、中国等の北東アジアにおいて事業を展開しております。全体の売上高は、前年同期比7.9%の増加（為替変動の影響を除いた実質前年同期比4.4%の増加）となりました。セグメント利益は、前年同期比7.2%の増加となりました。

(単位：百万円)

	当第3四半期	売上比	前第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	89,976		83,354		6,621	7.9%
セグメント利益	3,859	4.3%	3,601	4.3%	258	7.2%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第3四半期では8,916百万円、前第3四半期では8,730百万円となっております。

〔地域別売上状況〕

(単位：百万円)

	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率
東南アジア	61,902	56,940	4,962	8.7%
北東アジア	28,073	26,414	1,659	6.3%

(地域別の状況)

東南アジア全体の売上高は、前年同期比8.7%の増加となりました。

タイでは、「システム」歯磨や「植物物語」ボディソープが順調に推移し、円貨換算後の全体の売上は前年同期を上回りました。

北東アジア全体の売上高は、前年同期比6.3%の増加となりました。

韓国では、「システム」歯磨や「キレイキレイ」ハンドソープが好調に推移し、円貨換算後の全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

また、中国では、「システム」歯刷牙が順調に推移するとともに、Eコマースチャネルでの販売が好調に推移し、円貨換算後の全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

＜その他＞（建設請負事業等）

（単位：百万円）

	当第3四半期	売上比	前第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	22,160		18,916		3,243	17.1%
セグメント利益	953	4.3%	523	2.8%	429	82.0%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第3四半期では19,437百万円、前第3四半期では16,636百万円となっております。

（2）財政状態に関する説明

当四半期における資産、負債および純資産の状況
（連結財政状態）

	当第3四半期 連結会計期間末	前連結会計年度末	増減
総資産（百万円）	309,865	298,510	11,355
純資産（百万円）	173,085	157,879	15,206
自己資本比率※1（%）	52.9	50.0	2.9

※1：自己資本比率は、（純資産－新株予約権－非支配株主持分）／総資産で計算しています。

総資産は、有形固定資産の増加等により、前連結会計年度末と比較して113億5千5百万円増加し、3,098億6千5百万円となりました。純資産は、152億6百万円増加し、1,730億8千5百万円となり、自己資本比率は52.9%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月10日に公表いたしました通期の連結業績予想については変更しておりません。

（当期業績予想値算出の前提条件）

主要な為替レートは、112円／米ドル、3.2円／パーツとしています。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

（業績連動型株式報酬制度）

当社は、取締役（社外取締役を除きます。）及び執行役員（以下、取締役と併せて「取締役等」といいます。）を対象に、信託を通じて自社の株式を交付する取引を行っております。

① 取引の概要

当社は、取締役等を対象に、当社の中長期的な業績の向上と企業価値の増大への貢献意欲を高めることを目的として、業績連動型株式報酬制度（以下、「本制度」といいます。）を導入しております。

本制度では、役員報酬BIP（Board Incentive Plan）信託（以下「BIP信託」といいます。）と称される仕組みを採用します。BIP信託とは、米国の業績連動型株式報酬（Performance Share）制度及び譲渡制限付株式報酬（Restricted Stock）制度を参考にした役員に対するインセンティブ・プランであります。当社は、取締役等の退任後に、BIP信託により取得した当社株式及び当社株式の換価処分金相当額の金銭を業績目標の達成度等に応じて、交付及び給付します。

なお、信託内にある当社株式については、経営への中立性を確保するため、信託期間中、議決権を行使しないものとしております。

② 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除きます。）により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、当第3四半期連結会計期間末1,069百万円、502千株であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,879	19,451
受取手形及び売掛金	60,293	62,328
有価証券	61,007	59,104
商品及び製品	26,120	27,841
仕掛品	2,863	3,771
原材料及び貯蔵品	10,742	10,542
その他	6,626	6,797
貸倒引当金	△64	△43
流動資産合計	185,469	189,794
固定資産		
有形固定資産	74,402	78,538
無形固定資産		
商標権	1,658	41
その他	1,164	1,427
無形固定資産合計	2,822	1,469
投資その他の資産		
投資有価証券	24,025	28,954
その他	11,874	11,194
貸倒引当金	△84	△85
投資その他の資産合計	35,815	40,062
固定資産合計	113,040	120,070
資産合計	298,510	309,865
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,680	33,500
電子記録債務	16,266	18,644
短期借入金	4,244	4,257
1年内返済予定の長期借入金	260	265
未払金及び未払費用	51,979	44,085
未払法人税等	4,677	2,517
賞与引当金	3,792	4,520
返品調整引当金	382	373
販売促進引当金	2,974	3,712
役員賞与引当金	387	206
その他	3,793	6,009
流動負債合計	123,440	118,094
固定負債		
長期借入金	1,690	1,594
役員退職慰労引当金	287	271
株式給付引当金	-	57
退職給付に係る負債	10,446	11,314
資産除去債務	337	411
その他	4,428	5,035
固定負債合計	17,190	18,685
負債合計	140,630	136,780

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	34,433	34,433
資本剰余金	34,508	35,292
利益剰余金	82,479	92,950
自己株式	△4,778	△5,583
株主資本合計	146,642	157,092
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,429	10,591
繰延ヘッジ損益	12	2
為替換算調整勘定	445	924
退職給付に係る調整累計額	△5,246	△4,832
その他の包括利益累計額合計	2,640	6,686
新株予約権	218	210
非支配株主持分	8,377	9,095
純資産合計	157,879	173,085
負債純資産合計	298,510	309,865

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	290,134	301,142
売上原価	119,179	125,398
売上総利益	170,954	175,744
販売費及び一般管理費	151,889	155,046
営業利益	19,064	20,697
営業外収益		
受取利息	109	103
受取配当金	311	413
持分法による投資利益	528	623
受取ロイヤリティー	166	208
為替差益	70	53
その他	377	483
営業外収益合計	1,563	1,885
営業外費用		
支払利息	231	151
社債利息	9	-
たな卸資産処分損	53	138
その他	97	171
営業外費用合計	390	460
経常利益	20,237	22,122
特別利益		
投資有価証券売却益	31	113
特別利益合計	31	113
特別損失		
固定資産処分損	488	201
減損損失	71	360
関係会社整理損	303	-
特別損失合計	863	561
税金等調整前四半期純利益	19,405	21,673
法人税、住民税及び事業税	5,738	5,449
法人税等調整額	△418	230
法人税等合計	5,320	5,680
四半期純利益	14,084	15,993
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,041	1,160
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,043	14,832

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	14,084	15,993
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△385	3,260
繰延ヘッジ損益	△22	△9
為替換算調整勘定	△4,332	674
退職給付に係る調整額	603	413
持分法適用会社に対する持分相当額	△207	△67
その他の包括利益合計	△4,344	4,272
四半期包括利益	9,740	20,266
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,683	18,878
非支配株主に係る四半期包括利益	56	1,387

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	一般消費財 事業	産業用品事業	海外事業				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	190,295	22,933	74,624	2,280	290,134	—	290,134
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高(注)1	19,357	16,958	8,730	16,636	61,682	△61,682	—
計	209,652	39,892	83,354	18,916	351,816	△61,682	290,134
セグメント利益	12,620	1,838	3,601	523	18,584	480	19,064

(注) 1 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額480百万円は、内部取引消去額等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	一般消費財 事業	産業用品事業	海外事業				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	193,613	23,746	81,060	2,722	301,142	—	301,142
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高(注)1	20,212	16,424	8,916	19,437	64,992	△64,992	—
計	213,826	40,171	89,976	22,160	366,134	△64,992	301,142
セグメント利益	14,280	1,476	3,859	953	20,570	126	20,697

(注) 1 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額126百万円は、内部取引消去額等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。